

「勝手にくま鉄検定」第4セット目 に挑戦しましょう！

- 1 くま川鉄道が九州旅客鉄道（JR九州）から湯前線を引き継ぎ、第三セクターとして運行を始めてから2019年（令和元年）は何年目でしたか。  
①10年 ②20年 ③30年 ④40年
- 2 列車名「田園シンフォニー」の名前の由来として正しいものは次のどれですか。  
② 車窓いっぱいに広がる球磨盆地の美しい田園風景  
②デザイナーの水戸岡鋭治氏がベートーベンの交響曲第6番「田園」を聴いていて、車両デザインの着想を得た。  
③車両が田園調布町（東京都大田区）にある工場で組み立てられた。  
④鉄道敷設のために、田んぼや畑を格安で譲渡した農家に感謝の意を表すため。
- 3 この駅のホームには、えびす像があり、徒歩2分の場所にブルートレインを改造した列車ホテルが開業しています。この駅は何駅ですか。  
①公立病院前駅 ②多良木駅 ③東多良木駅 ④新鶴羽駅
- 4 くま川鉄道が、14駅、24.8kmの中に保有する登録有形文化財は全部でいくつありますか。  
①15 ②19 ③23 ④27
- 5 くま川鉄道が、2019年（令和元年）8月9日（金）から販売を開始した「【 】記念乗車券 人吉花火大会2019」は、販売価格1,200円で購入日から2020年3月31日までの期間、一日乗車券として1回のみ使用できます。【 】に入る言葉は何ですか。  
①夏目友人帳 ②夏目漱石 ③夏の甲子園 ④夏目雅子
- 6 おかどめ幸福駅の駅前にあるポストの色は何色ですか。  
①赤色 ②黄色 ③緑色 ④紫色
- 7 この駅のホームから、国指定重要文化財である青蓮寺阿弥陀堂の茅葺（かやぶき）屋根の上部が見えます。この駅は何駅ですか。  
①多良木駅 ②東多良木駅 ③新鶴羽駅 ④湯前駅

8 くま川鉄道の線路設備のうち、人吉駅～相良藩願成寺駅間の一部区間は、JR肥薩線と線路を併用しています。この併用区間は、およそ何メートルですか。

- ① 100m ②400m ③700m ④1000m

9 田園シンフォニーの車両価格（購入費用）は、一両あたりいくら位でしたか。

- ① 1,600万円～2,000万円 ②6,000万円～1億円  
③1億6,000万円～2億円 ④6億円～10億円

10 以下の文はインターネット上にあった、くま川鉄道のおかどめ幸福駅を紹介した「クチコミ投稿」の一部抜粋です。

文中の【 】に入る最も適切な言葉は何ですか。

くま川鉄道はいわゆる【 】で、観光目的で乗るには人吉側から乗って人吉に戻るしかない。しかし、終点まで行くととても時間がかかる。それならば、この駅が折り返すのがおススメ。というのも、人吉から乗るとこの駅の次の駅が列車交換をする駅なので、折り返しのための列車がすぐ来るのです。待ち時間は10分くらい。

駅舎は神社も兼ねているのか、鈴がついていて、おみくじも売っている。絵馬をつるすところもある。近くには売店もあり、10分はあっという間に過ぎてしまった。歩いて3分くらいのところには、本家の岡留熊野座神社もあるが、残念ながら行って戻ってくる余裕はありません。

- ① 環状線 ②ループ線 ③短絡線 ④盲腸線

いかがでしたか？

それでは、「勝手にくま鉄検定」第4セット目の正解と解説です。

## 1 ③30年

くま川鉄道株式会社は、1989年（平成元年）4月26日に設立し、10月1日に運行を始めました。従って、2019年は30年目でした。

それを祝して、2019年（令和元年）10月1日、人吉市内のホテルで盛大な開業30周年記念祝賀会が開催されました。写真は、主催者代表挨拶をされる

松岡隼人会長（人吉市長）です。



くま川鉄道では、開業30周年を記念して「30周年キャンペーン」と称して様々な企画を行いました。「くま鉄検定」もその一環として開催されているものです。

## 2 ①車窓いっぱい広がる球磨盆地の美しい田園風景

くま川鉄道のホームページを隅から隅まで調べましたが、この田園シンフォニーの名前の由来について正式に書いてある所を見つけることができませんでした。しかし、①が正解であると信じています。

筆者は4月下旬～5月初旬の頃、車窓に広がるれんげ畑がピンク色に染まっているのを見るのが好きです。



## 3 ②多良木駅

写真①が設問にある「えびす像」で、写真②が「ブルートレインたらぎ」です。



「ブルートレインたらぎ」は、2009年（平成21年）3月まで寝台特急「はやぶさ」として走っていた国鉄14系客車（B寝台車2両と、B寝台1人用個室「ソロ」の1両の計3両）を町が買い取り、2010年3月9日深夜に陸送されて同年7月1日に開業しました。

当時、くま川鉄道はこの施設の開業を記念して、記念入場券や人吉温泉駅から当駅までの往復乗車券、「ブルートレインたらぎ」の宿泊料、近隣の温泉施設の入浴料をセットにした割引乗車券を発売しています。

写真③は、設問には触れてありませんが、多良木駅から徒歩2分のところにある石倉です。人吉球磨地域には、穀物等の常温倉庫として凝灰岩で建てられた石倉が数多く存在しています。中でもこの石倉は、昭和10年前後にJAの前身である多良木町農業会が建築したもので、このように3棟並んで建っているのは大変珍しい（2009年9月25日、国の登録有形文化財に指定）そうです。現在は多良木町で購入・改築を行い、様々な交流イベントの拠点として広く利用されており、第1回目の「くま鉄検定」もここを試

験会場として行われました。ということで、「ブルートレインたらぎ」の代わりに「石倉」で出題されても正解できるように覚えておきましょう。

#### 4 ②19

以下に挙げる19の施設が有形文化財の登録を受けており、場所によっては写真にあるような登録証を目にすることができます。

御溝橋梁、大王川橋梁、石清水アーチ橋、川村駅待合所、球磨川第四橋梁、第一高柱川橋梁、第二高柱川橋梁、内門橋梁、第二覚井橋梁、木上駅待合所及びプラットホーム、崖下橋梁、免田川橋梁、井口川橋梁、宮田橋梁、平原アーチ橋、東多良木駅待合所及びプラットホーム、百太郎橋梁、高橋川橋梁、湯前駅本屋\*



(\*注：駅本屋とは、いわゆる book shop の意味ではなく、鉄道駅における中心的な建物のことです)

内訳としては、駅待合所等が4箇所、橋梁が15箇所です。

地元にいるとその存在が当たり前すぎて、ふだんは何げなく通りすぎてしまいそうな小さな無人駅の待合所やプラットホーム、数々の橋梁なども、歴史的景観や構造的な観点から捉えると、実はとても価値があるものだったということを知り、改めて驚かされます。

#### 5 ①夏目友人帳

写真は、筆者が実際に購入した「夏目友人帳記念乗車券」です。

夏目友人帳は、自然豊かな田舎町を舞台に妖怪と高校生たちが繰り広げるアニメ漫画です。明確な舞台設定はありませんが、劇中には作者緑川ゆきさんの出身地・在住地である人吉市の風景をモデルとする描写が多数存在するため、人吉市では町を挙げて夏目友人帳を広め、観光資源としています。熱烈なファンの中には人吉市やその近辺を「聖地」とあがめ、巡礼する人も多いようで、人吉市やその近辺には、夏目友人帳に関連するグッズやポスター等を数多く見受けられます。



くま川鉄道でも、人吉温泉駅とおかどめ幸福駅間の切符を2013年(平成25年)2月から4月にかけて発売したり、その後も夏目友人帳とコラボレーションした記念乗車券を発売したりしています。

## 6 ②黄色



地元紙などの報道をまとめると、おかもめ幸福駅に設置された黄色いポストは、「幸せを呼ぶ黄色いポスト」と称し、2018年（平成30年）8月29日に除幕式が行われています。

日本で唯一「幸福」の名が付く現役の駅にちなんで、このポストから、全国の皆さまにたくさんの幸せが届きますようにと願いを込めて、あさぎり町とくま川鉄道が地元の人吉郵便局の協力を経て設置したものだそうです。

## 7 ②東多良木駅

青蓮寺阿弥陀堂（しょうれんじあみだどう：写真①）は、鎌倉時代以降の多良木相良氏の菩提寺です。多良木相良氏初代とされる相良頼景（よしかげ）供養のために建てられ、郡内に残る中世的な景観の代表的存在とされ、阿弥陀堂は飛騨の工匠の造作と伝えられています。

日本遺産（相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里一人吉球磨～）の41ある構成文化財の1つでもあります。

なお、問題文にあるとおり、東多良木駅から青蓮寺阿弥陀堂の特徴ある茅葺屋根の上部が、写真②の矢印のとおり、かすかに見えます。

第2セットの3の解説の中に、堂内に安置されている釈迦三尊像の写真があります。参考にしてください。



## 8 ②400m

この区間が存在するため、運行計画（発車時刻や時間帯など）については、JR九州との協議が必要になってきます。くま川鉄道だけの都合で運行できないことは、色々な折にジレンマなのかもしれません。

写真①は、人吉温泉駅から湯前駅に向かうとすぐ現れる併用区間の開始地点の様子で、写真②が併用区間の終了付近の様子です。



## 9 ③1億6,000万円～2億円

2019年（令和元年）8月に実施されたテーブル席撤去の車両改造までは、朝の混雑時に乗車率130%という日がたびたびあり、「車両増結や運行車両を増やすように、くま川鉄道に伝えてほしい」という生徒や保護者からの要望をよく聞いていました。しかし、1両がそんなに高額なら、新たに車両を購入することは難しいのではないかと正直思っていました。

## 10 ④盲腸線

盲腸線（もうちょうせん）とは、初めて耳にする言葉だったかもしれませんが。あくまでも俗称ですが、公共交通機関において営業距離が短く、かつ起点もしくは終点のどちらかが他の路線に接続していない行き止まりの路線を、あたかも盲腸（虫垂）のように見えることからこう称されるわけです。

「盲腸」という言葉に、「役に立たないのに存在する短くて行き止まり状のもの」（実際、ヒトの盲腸は20世紀頃までそのように理解されていたそうです）という意味合いが込められているため、行き止まりの路線であっても輸送上重要な役割を果たしている幹線鉄道は、盲腸線の範疇から外れることもあるようです。

くま川鉄道は、まさに盲腸線です。しかし、クチコミの筆者は「役に立たないのになぜか残っている」といった意味合いで使っていないはずだと信じます。

①環状線は、円状の路線を一周運転している路線で、JR東日本の山手線やJR西日本の大阪環状線が有名です。

②ループ線は、高低差の大きな線区で勾配を緩くするため、線路をループ状に一周させて勾配を克服する路線です。人吉市大野町にあるJR九州の大畑（おこば）駅は、肥薩線の山線と呼ばれる険しい区間にある駅で、日本で唯一、ループ線の中にスイッチバックを併せ持つ駅として知られています。

③短絡線は、鉄道において他の路線同士を接続するための線路の呼称です。遠回りすることなく路線同士を結ぶことからつけられたもので、本州を横断して山陽地方と山陰地方を結ぶJR伯備線や智頭急行・JR因美線などを「陰陽連絡線」と称するように、連絡線と呼ばれることもあります。